



開会式のリハーサルで堂々と入場行進するハル学院光星ナイン 18日午前、阪神甲子園球場

光星リハ行進堂々

センバツきょう開幕

初日初戦 主将「全員調子上がってる」

第98回選抜高校野球大会（センバツ）は19日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で午前9時から開会式を行い、出場32校による13日間（休養日を含む）の熱戦が始まる。今大会から指名打者（DH）制を導入。本県の八学光星は大会初日の第3試合（午後3時半開始予定）で崇徳（広島）と対戦する。（棟方好華）

【27面参照】

18日は同球場で開会式のリハーサルを実施。前年度優勝校の横浜（神奈川）を先頭に、出場校が南から順に入場行進した。30番目に登場した八学光星は、吉田の元気なかけ声に合わせて、堂々とグラウンドを歩いた。

リハーサルでは、司会を務める八戸聖ウルスラ学院の榎本柁留さん（3年）がアナウンスし、本番の流れを確認。北照（北海道）の主将手代森が緊張した面持ちで選手宣誓した。

リハーサル後、八学光星の主将北口は現地入り後の練習試合が7勝1敗だったことに触れながら、「全員の調子が徐々に上がってきて、いい準備ができています。初日から点を取り、勢いに乗りたい」と意気込みを語った。